

会社経営陣よ!!これまでの姿勢を改めろ!!

昨年度において、会社経営陣は鉄道事業部門の大幅な赤字を理由に、平成25年度事業計画で社員の人件費を大幅に削減する考えを示しました。その様な状況下で取締役会及び株主総会では、職場の青年部員の思いを踏みにじる人事を決定・発表し、専務を3人体制に増やすなどを、会社は行いました。

JR貨物会社は、2014年6月17日に第27回定時株主総会を開催し、新役員人事を発表するとしています。

会社経営陣自らが、「鉄道事業を黒字にしなければ物流業界から退場せよ、と大変厳しい状況」と言っているのに、まさか今回も役員を増やしたり、昇格人事を行うことは無いですよね!?

平成25年度の会社の業績は、私たちの期末手当を始めとした人件費の大幅な削減を行い、年初に計画した経常利益の34億円を達成しました。職場で働く青年部員は生活が困窮し、要員不足の中で異常時にも対応し、安全で安定した輸送に向けて必死に努力しています。

汗を流し、結果を出したのは私たちだ!!

この実態を見れば、職場で働く私たちが苦勞し血を流した結果、事業計画の達成に導くことができたのです。決して会社経営陣が出した結果でないことは明らかです。

職場に必要な要員配置をしなければ鉄道貨物輸送が将来に亘って発展させることができません!もちろん、会社が最大の目標としている「鉄道事業部門の黒字化」は、会社経営陣が自ら多大な努力をしなければ、達成できないのではないのでしょうか。

会社経営陣自らが働き度を上げろ!!

会社は中期経営計画において、社員の働き度の向上を行うとしていますが、職場の青年部員は、年休もまともに取得出来ない中、さらに少ない賃金の中で生活し業務を担っています。

働き度を上げるのは、高額な役員報酬を受け取っている会社経営陣であり、これまで以上に収入努力を行うべきではありませんか!!会社経営陣自らが努力するべきだ!!私たちだけに犠牲を強いる事は絶対に認めない!!

青年部員の皆さん!!身勝手な経営を許してはなりません!!